



総研大ニューズレター

第63号 2013.8 発行

●目次

【今月のトピックス】	「総研大レクチャー「国際コミュニケーション」からノルウェーへ 学融合推進センター」
	「地域文化学専攻・比較文化学専攻 サマーオープンキャンパスを開催 地域文化学専攻・比較文化学専攻」
	「総研大・高エネルギー加速器科学研究科 平成25年度第2回大学院説明会 (オープンキャンパス)を開催 高エネルギー加速器科学研究科」
	「統計科学専攻博士百人記念講演会について 統計科学専攻」
	「サイエンスカフェ 広報室」
	「中高生の科学セミナー 広報室」

【各種募集】

【イベント情報】

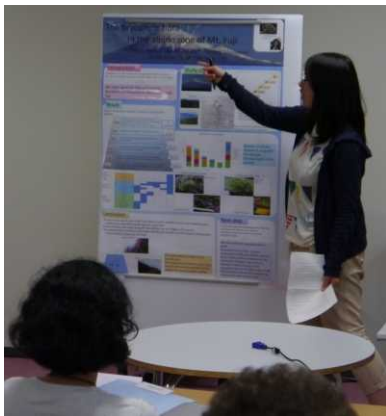
主なイベント予定

9月27日	学位記授与式
10月7日	入学式
10月7日～8日	学生セミナー
10月31日	国際日本研究専攻 入学試験説明会

【今月のトピックス】

● 総研大レクチャー「国際コミュニケーション」からノルウェーへ

総研大レクチャー「国際コミュニケーション」は自分の研究の魅力を英語で世界にアピールする実践的能力を育成すること目的として平成18年度から開催されています。本年度は6月12日～15日に行われ、留学生3名を含む総研大生8名が参加しました。



レクチャーは自己紹介から始まります。自身の簡単なプロフィールと他の分野の研究者にもわかるような研究紹介の3分間スピーチを行いました。受講者は事前に準備したポスターを使ってプレゼンしますが、この時点では原稿から手が離せません。

受講者全員のプレゼンの後、ネイティブスピーカーの講師から「自分自身の研究の面白さを1つの文章に絞り込む必要がある」「研究のベネフィットを強調した方が相手に伝わりやすい」といったアドバイスがありました。

応用にはすぐには結びつかない基礎研究のベネフィットを説明することは、難しい問題です。でも、直接社会に役立つかどうかは言うことができなくてもその応用可能性を伝え、研究の必要性を説明することで、相手に自分の研究の魅力を伝えら

れることをこのセミナーを通して理解を深めます。

自己紹介の後は、良いプレゼンにはどんなスキルが必要なのかについて具体的なレクチャーがクラスに分れて行われました。相手に話したい内容をきちんと届けるためにはジェスチャー、ア

アイコンタクトなど、フィジカルスキルも大切です。日本人には少し苦手なところなので、実際に身体を動かして体感します。

さらに、短いセンテンスや簡単な単語を使うことや強調したいところは少し‘間’を置いて説明することなど、どのような話し方をすればよいかなどについても細かい指導があります。

授業は「レクチャー」→「ポスター発表の実践」→「講師の一人一人へのフィードバック」の繰り返して進みます。頭で理解していても身体がついていかないといった状態から一歩踏み出すための工夫です。

このセミナーの一番の特徴は、受講生が JSPS サマープログラムのフェローと毎日交流できることです。フェローは米国国立科学財団、ブリティッシュカウンスル、フランス国立科学研究センター、ドイツ学術交流会、カナダ大使館からの推薦に基づいて選ばれた約 100 名の若手研究者で、夏の 2 か月間を大学などの日本の研究施設で研究を行います。このプログラムのオリエンテーションを総研大で 1 週間かけて行っており、100 名以上のフェローが葉山に滞在しています。

そこで、受講生はサマープログラムの歓迎レセプションや日本文化紹介セッションの時にフェローと合流し、レクチャーで習ったコミュニケーションスキルを試すことができるというわけです。そして、初対面のフェローに話しかけるということとはどんな相手にも気おくれしない精神力を養うことにもなります。



ばなりません。かなりハードな 3 時間を過ごすこととなります。

こうして総研大レクチャー「国際コミュニケーション」の修了書を手に受講者たちは各専攻に戻ったのですが、その一人である極域科学専攻の丸尾さんから、7月の終わりにメールが届きました。

『私は、総研大海外派遣事業のサポートを受け、ノルウェーのロングイェールビーンにある The University Center in Svalbard で北極の植物に関するオータムコースに参加しています！野外調査のために北極クルーズにも行ってきました。そして友達もできました！





6月30日に、日本を出発してもう1か月になりますが、様々な場面で国際コミュニケーションでの勉強は、役に立っています。

私の場合、自分の研究を皆の前でプレゼンテーションしたのですが、そこで特に役に立ちました。また、個々のプレゼンスキルよりも、国際コミュニケーションで身についた度胸のほうが役に立ったように思います。とりあえず、英語を強制的に話すという機会を日本で経験して本当によかったと思います。

こちらで改めて思ったのは、言葉が話せても壊せない壁があって、言葉が話せなくても壊せる壁はあるということです。それから、国際コミュニケーションで知り合ったフェローや総研大留学生のことをよく考えます。彼らなら、こういう状況でどう動いたかな…など。こちらに来てから、日本に来た留学生の気持ちが理解できました。

国際コミュニケーションに参加せずにこちらに来ていたら、誰ともなかなか話すことができず、孤独なままだったかもしれません。ですが、少しでも自分から話すことによって、今はたくさんの友達とともに勉強ができています。』

丸尾さんにとって国際コミュニケーションは世界への一つのステップになったようです。世界で活躍するということは、こんなちょっとしたステップの繰り返しかもしれません。そして、コミュニケーションは言葉だけではないことにも丸尾さんは気が付いています。経験を振り返ることができたことで、コミュニケーションの意味を理解することができたのかもしれません。

総研大は国際的に活躍できる研究者の育成を教育目標の一つとしており、総研大レクチャー「国際コミュニケーション」と「総研大海外派遣事業」は全専攻の学生が参加できる教育プログラムです。ぜひ、参加してみてください。そこから世界に飛び出して行けるかもしれません。

【文責：学融合推進センター 講師 岩瀬峰代】

● 地域文化学専攻・比較文化学専攻 サマーオープンキャンパスを開催

地域文化学専攻・比較文化学専攻では、7月21日（日）にキャンパスプラザ京都において、サマーオープンキャンパスを実施しました。当専攻でのサマーオープンキャンパスの実施は、今年度が初めてにも関わらず、遠方からの参加者を含めて6名の来場がありました。

会場では、教員・在学生に質問が行えるコーナーおよび閲覧が自由に行える映像コーナーを設置しました。

教員への質問コーナーでは、地域文化学専攻長の佐々木史郎教授、比較文化学専攻長の鈴木七美教授、また、前地域文化学専攻長の久保正敏教授が対応を行い、参加者から寄せられた大学院の教育内容や入試についての質問に答えました。また、在学生への質問コーナーでは、地域文化学専攻の今井彬暁さんと比較文化学専攻の古沢ゆりあさんが対応し、参加者からは、具体的にどのような学生生活を送るのかについての質問が多く寄せられ、参加者と在学生の間で活発な交流が行われました。

映像コーナーでは、授業風景や行事、民博の施設など、様々な学生生活の場면을写したスライ

ドショーを、タブレットコンピュータで自由に閲覧できるようにし、参加者は興味深く見入っていました。

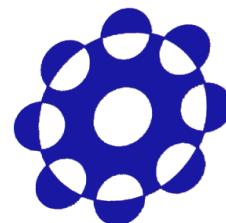
参加者からは、教員や学生と交流することで得られた情報も多く、大変参考になったという意見が寄せられ、充実したオープンキャンパスとなりました。



【文責：地域文化化学専攻・比較文化化学専攻】

● 総研大・高エネルギー加速器科学研究科

平成25年度第2回大学院説明会（オープンキャンパス）を開催



高エネルギー加速器科学研究科では、7月9日（火）にKEKつくばキャンパスにて、平成25年度第2回大学院説明会（オープンキャンパス）を開催しました。今年は平年よりずいぶん早く梅雨明けしたこともあり、当日は天候にも恵まれ、北海道から九州まで、全国の大学などから次世代の研究者を目指す22名（昨年度13名）が参加しました。

午前には研究科の紹介に続き、加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻から各2名の講師による各専攻の案内・研究内容等についての説明を行い、関連資料（募集要項を含む）を配布しました。

午後の前半は、各専攻の様々な研究グループが計27ブースに分かれて、ポスターによる研究紹介を行いました。参加者は各ブースにおいて担当教員や総研大在学生からの詳細な研究内容の説明に熱心に耳を傾け、入学後の研究環境や生活環境についても積極的に質問していました。また、素粒子原子核専攻理論部門による相談窓口が設けられ、参加者と担当教員との間で活発な質疑応答が行われました。このポスターセッションでは、お茶とお菓子を提供しましたが、そのためか和やかな雰囲気での研究紹介となり、緊張続きの参加者にもリラックスした様子が見られました。

その後、入射器棟、放射光実験施設、KEKB、Bファクトリー実験施設、ATFの施設見学を行いました。参加者は先輩研究者が実際に日々携わっている世界に誇る実験施設のすばらしさを実感しているようでした。

大学院説明会の全日程終了までには、参加者同士、連絡先を交換しあったり、感想など語り合う様子も見受けられました。今回の参加者の中から、一人でも多くの人が、次世代のKEK及び総研大を支えてくれることを願っています。

【文責：研究科長 岩崎博行】





● 統計科学専攻博士百人記念講演会について

平成 25 年 6 月 14 日（金）開催の統計数理研究所オープンハウスでは、博士百人記念講演会、学生研究発表会、大学院説明会等を開催しました。特に今回は統計科学専攻での博士号取得者が 100 名を超えた記念講演会ということもあり、多くの方にご来場を頂きました。

博士百人記念講演会では高畑尚之学長にご祝辞を頂き、東大生産技術研究所の合原一幸先生による講演が行われました。引き続き、統計科学専攻第 1 期修了生で、現在は東大情報理工学系研究科に所属の駒木文保先生に講演が行われました。駒木先生には、総研大への入学の経緯・立川移転前の広尾の様子・当時の先生との交流など、ユーモア交えてお話を頂きました。

また、同時開催の学生研究発表会（ポスター発表）では、在学生在自身の研究について説明を行い、その様子を高畑学長にもご覧頂きました。その後の大学院説明会には 36 名の参加者があり、今年度の入試ガイダンス・5 年の課程と後期 3 年の課程のカリキュラムの説明・在在学生による研究テーマの紹介・修了後の進路紹介 などをを行い、説明会終了後には志望する教員との面談も行いました。次回の大学院説明会は 11 月を予定しています。

■博士百人記念講演会 高畑学長祝辞



■学生研究発表会（ポスター展示）
【文責：統計科学専攻 研究支援担当】

●サイエンスカフェ『ヒッグス粒子の発見—質量をつかさどるヒッグス粒子とは?—』を開催

7月6日(土)、湘南国際村センターにおいて、総研大とかながわ国際交流財団との共催でサイエンスカフェを開催しました。今回は葉山町や逗子市といった地域の方々を中心に、40代から80代以上の方まで幅広い年代の44名の参加がありました。

講師として、高エネルギー加速器科学研究科長の岩崎博行先生を迎え、「ヒッグス粒子の発見—質量をつかさどるヒッグス粒子とは?—」と題して、お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で、2時間の講義を行いました。

LHC計画では、ヒッグス粒子が考えられるどの質量であっても必ず発見できるだけの性能を持った加速器と検出器が製作されました。国際協力体制でLHC計画が開始されてから約15年の歳月を経て、2012年について『ヒッグス粒子』発見につながったそうです。

今回はヒッグス粒子とはどういう粒子なのかということと、LHC加速器や実験装置も含めその発見に至るまでの物語を詳しくご説明していただきました。

参加者は『ヒッグス粒子』について、強い興味を持って参加した方が多く、終了時間間際まで質問されていました。

また、終了後のアンケート結果においても、「とても満足」「満足」と回答した方が多く、本学における研究成果を一般の方にわかりやすく伝えるというサイエンスカフェ本来の目的は充分達成されたようでしたが、今回会場の定員が45名なのに対し、参加申込者が100名近くおり、お断りするのが大変申し訳なく思いました。『ヒッグス粒子』への関心の高さに驚くとともに、会場の収容人数等に関し考慮すべき課題となりました。



【文責 広報室】

●第6回中高生のための科学セミナー「ヒッグス粒子の発見」を開催

7月23日(火)、横須賀市自然・人文博物館にて、中高生のための科学セミナーを開催しました。このセミナーは総研大の地域社会交流プログラムの一環として毎年この時期に開催しており、今回は中高生の他、保護者も含めて計93名の参加がありました。

今回は講師として高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所の中村浩二助教を迎え、「ヒッグス粒子の発見」と題して2時間の講義を行いました。

話は「宇宙の成り立ち」から始まり、「ヒッグス粒子とは何か」、「ヒッグス粒子の見つけ方」など、図や写真を用いながら、大変興味深い説明がなされました。

アンケートの感想では、「ヒッグス粒子はどのような素粒子で見つけるためにはどのような実験が必要なのか分かった」、「よく分からなかったヒッグス粒子のことも面白い話でよく分かった」、「ニュースや新聞でヒッグス粒子は聞いたことはありましたが、くわしくわからなかったけど、講演を聴いてヒッグス粒子についてよく知ることができました」、「LHCを生で見てみたいと思いました」など、参加した生徒たちはヒッグス粒子を研究している楽しさを感じ取ったようで

す。全体的に、「面白かった」という感想が多く、普段の授業ではなかなか聞くことのできない、科学の面白さを知ってもらえたようでした。



【文責 広報室】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提 出 先
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター事務係
http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68		
平成25年度(第19回)総合研究 大学院大学長倉研究奨励賞募 集		詳細は URL を参照
http://www.soken.ac.jp/news_all/2993.html http://www.soken.ac.jp/en/news/0263.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

8 月

日程	時間	行事名	場所
3 日(土)		生理科学専攻大学院説明会2	岡崎 生理学研究所
20 日(火)	14:00-20:00	JSPSサマープログラム報告会	ホテルグランドパレス
28 日(水) 30 日(金)	10:00	基礎生物学研究所(基礎生物学専攻)大 学生のための夏の実習 2013	基礎生物学研究所
http://www.nibb.ac.jp/summer2013/			
28 日(水)	14:00-16:00	国際日本研究専攻 学位論文公開発表会	国際日本文化研究セン ター 第5共同研究室
http://www.nichibun.ac.jp/ja/education/index.html			

9 月

日程	時間	行事名	場所
27 日		学位記授与式	総研大葉山キャンパス

10 月

日程	時間	行事名	場所
7 日(月)		入学式	総研大葉山キャンパス
7 日(月) 8 日(火)		学生セミナー	総研大葉山キャンパス
31 日(木)	13:00-15:00	国際日本研究専攻 入学試験説明会	国際日本文化研究セン ター
http://www.nichibun.ac.jp/ja/education/graduate_s.html			

● 基盤機関の行事

8月

日程	時間	行事名	場所
7月2日(火)- 9月1日(日)		時代を作った技ー中世の産業革命ー	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html			
11日(木)-11 月5日(火)	10:00-17:00	企画展「武器をアートにーモザンビークにおける平和構築」	国立民族学博物館 企画展示室 B
7月23日(火) - 9月1日 (日)		江戸のくらしと虫	国立歴史民俗博物館
7月25日(木) - 8月27日 (火)	10:00-17:00	【新 日本の文化展示関連】みんなQ	国立民族学博物館
7月30日(火) - 9月1日 (日)		伝統の朝顔	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
3日(土)	10:30-17:00	歴博映像フォーラム8「石を切るー採石技術の伝統と革新ー」	新宿明治安田生命ホール
http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/next.html			
3日(土) -18日 (日)		南の島の星まつり 2013	国立天文台 VERA 石垣 島観測局・石垣島天文 台
3日(土) 10日(土) 11日(日)	13:00-13:30	【企画展「アマゾンの生き物文化」関連】 ギャラリートーク	国立民族学博物館
4日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第309回「家系図でつな がる人びと」	国立民族学博物館
6日(火)	10:20-17:00	博学連携教員研修ワークショップ 2013 in みんなく「学校と博物館でつくる 国際理 解教育ーセンセイもつくる・あそぶ・おど る・たのしむー」	国立民族学博物館
10日(土)	13:00-15:00	第356回 歴博講演会 「中世の生産革命」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
10日(土)		八重山高原星物語 2013	国立天文台 VERA 入来観測局
11日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第310回「梅棹忠夫著 作目録(1934~)データベース」公開に ついて」	国立民族学博物館
17日(土)	13:30-15:00	第423回みんなくゼミナール「つくりものー ハレのかたち・おもしろいかたちー」	国立民族学博物館 講堂
18日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第311回「ガーナの病気 と医療」	国立民族学博物館

20日(火)、22日(木)、23日(金)	14:00-17:00	2013年度みんなく秋の遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス	国立民族学博物館
22日(木)	13:30-14:30	イプシロンロケット試験機による 惑星分光観測衛星(SPRINT-A)の打上げ ※最新の打上情報はHPで確認して下さい	宇宙航空研究開発機構 内之浦宇宙空間観測所
24日(土)	10:00-12:00	第173回「朝顔の名前からわかること」	国立歴史民俗博物館 館くらしの植物苑
24日(土)		いわて銀河フェスタ2013	国立天文台 水沢 VLBI 観測所キャンパス・奥州宇宙遊学館
24日(土)		国立天文台 野辺山 特別公開 2013「つなげよう 宇宙・太陽・そして生命」	国立天文台 野辺山
25日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第312回	国立民族学博物館
28日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座第3回 「ネットの上の“あなた”ー安全・便利な本人認証と個人識別の今ー」	学術総合センター

9月

日程	時間	行事名	場所
1日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第313回	国立民族学博物館
6日(金)	14:00-16:30 (開場 13:15)	日文研 学術講演会	国際日本文化研究センター 内講堂
7日(土)	13:30-15:30	第19回「変わり続ける音と声と暮らし」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
8日(日)		平成25年度KEK一般公開	高エネルギー加速器研究機構 つくばキャンパス
8日(日)	13:30-16:00	研究公演「のど歌のふるさと」	国立民族学博物館講堂
13日(金)	13:00-17:00	新技術説明会	JST 東京本部別館ホール (東京・市ヶ谷)

12日(木) -11月26日(火)	10:00-17:00	企画展「台湾平埔族の歴史と文化」	国立民族学博物館 企画展示場 A
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/taiwan20130912/index		
14日(土)	13:00-15:00	第357回「縄文時代の植物利用」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
15日(日)	13:30-16:00	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ 「再会の食卓」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs		
16日(月・祝)	13:30-14:30	トークイベント「みんなく× MBS ラジオ presents 行って！わかった！これがびっくりリアル世界だ。」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/10000000		
18日(水)		特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum」特別公開	国立民族学博物館 エントランス、特別展示場
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20130919attic/index		
19日(木)	18:30-19:45	国立情報学研究所平成25年度第4回市民講座「超伝導人工原子のインパクト～より日常的スケールでの量子世界の実現～」	学術総合センター(千代田区一ツ橋)
	http://www.nii.ac.jp/event/shimin/		
19日(木) -12月3日(火)	10:00-17:00	特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum」	国立民族学博物館 特別展示館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20130919attic/index		
20日(金)	14:00-16:00 (開場 13:40)	第270回日文研フォーラム「春画を語る・語る春画 - 春画を西洋の大学で教える諸問題 -」	ハートピア京都3階大会議室
	http://www.nichibun.ac.jp/ja/		
21日(土)	10:30-17:00	第90回「現代社会と民俗文化」	東京証券会館ホール
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#b		
21日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール「屋根裏部屋博物館主人の横顔」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar		
22日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第314回	国立民族学博物館
23日(月) -27(金)		国際ワークショップ「民族学資料の記録化・情報化の諸問題」	ロシア、ロシア民族学博物館(サンクトペテルブルク市)、ノヴゴロド野外博物館(ノヴゴロド市)、ヴィトスラヴィツィ民俗木造建築博物館(ノヴゴロド市)
27(金)		語順に関する国際ワークショップ	国立民族学博物館 第4セミナー室・第5セミナー室

27日(金)	14:00-16:00 (開場 13:30)	EAJS 日本会議 Preconference 日文研 シンポジウム「日欧交流 500 年を前に— 航路の形成と情報の拠点」	国際日本文化研究セ ンター内講堂
	http://www.nichibun.ac.jp/ja/		
28日(土)		言語の記述に関する国際ワークショップ	国立民族学博物館 第 4セミナー室
28日(土)	13:30-16:30 頃	みんなく映画会「中国インディペンデント・ ドキュメンタリー映画『白塔』	国立民族学博物館 講堂
28日(土)	13:30-15:30	第 174 回「伝統の朝顔展の裏側」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
29日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第 315 回	国立民族学博物館
29日(日)		手話言語と音声言語についての国際シン ポジウム(2)「文の構造・身体表現」	国立民族学博物館 講堂

10月

日程	時間	行事名	場所
5日(土)	9:30-17:00	基礎生物学研究所 一般公開 2013 「体感！最先端バイオの世界」	基礎生物学研究所
	http://open.nibb.ac.jp/		
6日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第 316 回	国立民族学博物館
8日(火)– 12月1日 (日)		中世の古文書-機能と形-	国立歴史民俗博物館
12日(土)	13:00-15:00	第 358 回「木と炭素 14 のちょっといい関 係」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
13日(日)		公開シンポジウム「渋沢敬三を語る—偉 大なる学問の庇護者」	国立民族学博物館 講堂
13日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第 317 回	国立民族学博物館
13日(日) – 14日 (月)		国際シンポジウム「博物館コレクションの 中のシベリア、極東諸民族の文化—収 集、保存、展示方法の検討」	国立民族学博物館 第 4 セミナー室
14日(月・ 祝)	10:00-16:30	第 15 回自然科学機構シンポジウム 「アストロバイオロジー(宇宙における生 命)」	学術総合センター— 一橋講堂
	http://www.nins.jp/public_information/sympo15.php		
17日(木)	18:30-19:45	国立情報学研究所平成 25 年度第 5 回市 民講座「社会基盤としてのオープンデータ ～みんなで作ろう、使おう、オープンデー タ～」	学術総合センター(千代 田区一ツ橋)
	http://www.nii.ac.jp/event/shimin/		
19日(土)	13:00-16:30	第 91 回「中世の古文書-機能と形-	国立歴史民俗博物館 歴博講堂

20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第318回	国立民族学博物館
25日(金)	18:30-20:40	みんなく公開講演会「ミャンマー刻んだ歴史 未来へのまなざし」	日経ホール
27日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第319回	国立民族学博物館
26日(土)	13:30-16:30	第92回「民俗表現の現在-博物館型研究 統合の視座から-」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
26日(土)	13:30-15:30	第175回「暮らしの中に息づく植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
29日(火)- 12月1日(日)		海を渡った漆器Ⅱ-江戸時代の輸出漆器-	国立歴史民俗博物館

【教員の受賞情報等】

○複合科学研究科

極域科学専攻 内藤靖彦名誉教授 高橋晃周准教授

第6回海洋立国推進功労者表彰「海洋に関する顕著な功績」分野「海洋に関する科学技術振興」部門受賞

○複合科学研究科

情報学専攻 杉本晃宏教授

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ「平成25年度 情報・システムソサイエティ活動功労賞」

情報学専攻 水野貴之准教授

一般社団法人 情報処理学会「第75回全国大会大会優秀賞」受賞

情報学専攻

速水謙教授

SIAM Student Paper Prize 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター63号をお届けします。

7月は、サイエンスカフェと中高生のための科学セミナーの二つのイベントが、湘南国際村と横須賀市において開催されました。ヒッグス粒子の発見をテーマに、両方とも高エネ研の先生に講師をお願いしました。サイエンスカフェの方は、年配の方を中心に44名、科学セミナーの方は、中高生を中心に93名もの参加がありました。ヒッグス粒子の発見というのは、一般の方々にも、すごく関心が持たれているということがよく分かりました。岩崎先生、中村先生、ご講演ありがとうございました。

7月下旬に大阪に行く機会がありました。用事を終えて17時過ぎに京橋の駅に向かって長い歩道橋を渡っていた時のことです。ビルとビルの間から、ワーンというのか、ゴーというのか、ものすごい音がしていました。最初は大きな工事をやっているのかと思ったのですが、よくよく聞いているとそれはクマゼミの大合唱でした。数匹ならジャンジャンジャンなど聞こえ、クマゼミだと分かるのですが、千匹も（もっといたかもしれませんが）まとまって鳴かれると音節がないというのか、ただの大きな音の塊、騒音にしかありません。まあ、本当にびっくりする経験でした。

大阪も暑かったですが、8月は全国的に暑くなるということです。皆さま、水分補給と適度な冷房で猛暑を乗り切っていただきたいと思っております。



広報室 T.S

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2013年8月14日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課（担当）

TEL 046-858-1500/FAX 046-858-1542

©2013 SOKENDAI